

# JAAC だより

## 帰国後の英語力維持の必要性と重要性

### － さらなる英語力強化は帰国してから始まる －

JAAC生の皆さんのなかには、留学の目的を『英語が話せるようになるため』としていた方も多くことでしょう。皆さん方にとって留学本来の目的はアメリカの大学を卒業することですが、その過程において英語力は必然的に身に付けることができるものです。大学を卒業して帰国した皆さんの英語力はかなりのものだと確信していますが、帰国後3年、5年、10年と年月を経るごとに、自分の英語力が徐々に低下していくことに否応無しに気づかされることでしょう。その最も大きな要因は、『普段から英語を使わない・使う機会が無い』ということでしょうね。帰国して、外資系企業などに就職された方や、仕事上で多少なりとも英語に触れたり、英語を使う機会がある方にとっては、英語力の維持も比較的容易かと思いますが、一般的には日本に暮らしながらアメリカで身に付けた英語力を維持していくのは難しいと言えるでしょう。就職活動などを通してお気づきのように、多くの企業は、というよりも社会全体が、英語力はもちろんのこと、他の外国語を話し、理解することができる人材を必要としています。このような世の中だからこそ、まずは英語だけでも（ほぼ）完璧に近い能力を養って、身に付けておくことが大切です。

皆さんは、留学未経験者や短期語学研修・留学などの経験者に比べると、日本で英語の勉強をすることにおいては大きなアドバンテージを持っています。それは、皆さんのほとんど全員の方がアメリカで4年から6年間を過ごした経験を持ち合わせていることです。しかも、ただ単にアメリカで暮らしていたのではなく、大学で勉強をしていたのですから、総合的な英語能力の基礎を既に身に付けていると言ってもよいでしょう。英語を『聞く・聞ける』耳と、『話す・話せる』舌と口を持ち合わせ、知識としての多くの語彙力も兼ね備えているはずで、そして何よりも、英語の勉強の仕方とも言うべきものを留学中の生活を通じて自然に学んできているということですね。

皆さんのように10代後半から20代前半、もしくは20代半ばくらいまでの間にアメリカ留学をしていた人たちは、言葉を使える能力が最も発達する時期をアメリカで過ごしたことになります。その間に身に付けた英語力は将来も生き続けるものなのですが、その能力を維持するには日本での英語学習の継続が不可欠です。『聞く力』と『話す力』を継続的に維持するには、やはりネイティブと実際に話をするのが最も効果的な方法と言えるでしょう。多少なりとも自分への投資として、英会話学校へ通ったり、または、ラジオやTVなどの語学教育番組を利用するのも一考です。一番良いのは、ネイティブの友人を日本でも作るのだと思いますが、これは全員の方ができることではないかもしれませんね。

帰国後の皆さんの英語力を伸ばす最良の方法の一つは、語彙力を増強することだと思われます。それにはまず、日本語力を高めることです。長年、アメリカにいたことにより、日本語力が低下していることは否めません。新聞や雑誌などを読む際にも、難しい言葉や漢字にお目にかかることは誰でもが経験していることです。それらの言葉一つひとつを英単語に置き換えて、それらの用法を併せて学習することが大切です。Reading『読み』能力も自然に身に付けられるこのような日々の学習の積み重ねが、語彙力アップに繋がるのです。私の経験も含めながら申し上げますが、日本の新聞と英字新聞を合わせて読み比べることも良い方法だと思われます。多くの留学経験者の英語力をみると、英文法においてはかなりの力を持っているようですが、語彙力についてはある程度の限界があるようです。文法はある種の法則性を持つものですから、数学や物理で言うところの『公式』にあたるものと言えるでしょう。この公式に数字を当てはめることによって、いろいろな計算が可能になり、様々な数値的な結論を見出すことができますね。英語も同様に、様々な語彙を文法という英語の公式に当てはめることによって、あらゆる場面や状況に対応する表現が可能となります。英語力の強化というのは、どれだけ多くの場面や状況に沿って英語表現を身に付けることができるか、ということに他なりません。また、日々の勉強の中で、忘れかけていた英文法 — 英語の公式 — をもう一度見直すことも大事なことです。ご存じのように、英語の基本5文型が基盤となり、文法的な慣例用法は数多くあります。それらの多くについては、既に皆さんはアメリカ留学を通して少なからず触れているわけです。語彙を増やすと同時に、英文法の復習も同時に進めていくことによって、英語の総合能力をさらに強化することに繋がることでしょう。それは、もう一つの英語力であるWriting『書き』の力をも自動的に引き上げることに繋がるのです。本格的な英語の勉強は、帰国後から始まるものなのです。（照井）

### 今年もまた震災被災地に冬が来る

酷暑の夏から一変したように秋の訪れを感じますね。そして、秋は確実に私たちを冬へと導きます。震災被災地の多くは東北地方で、寒さの到来も早まっています。今年もまた、寒い冬が被災地にやってきます。3.11 から一年半以上が過ぎましたが、未だに自宅に戻れない行方不明者の方々が大量です。未だに仮設住宅での生活を余儀無くされている方々も大量です。月日と季節の節目を迎えるたびに、震災から何日・・・と報じられていますが、普通に暮らしている一般の人々からは、1日経つごとに震災と被災地の記憶が薄れつつあるように感じます。大それたことではなくとも、何か被災地で暮らす人たちに対してできることを考えてみませんか。(照井)

### — オリンピックが終わった —

今年、ロンドンで行われたオリンピックとパラリンピックが終わった。本誌の前号でも取り上げたが、いつも話題になることとして、オリンピックの報道に比べパラリンピックの報道が小さい、ということがある。今年も過去の例から比較すると少し大きく取り上げられたようだ。オリンピックはただTVで観る者を楽しませるだけのものではない。そこで活躍する選手たちの姿から、健常者も障害者も夢と勇気と希望をもらうものもある。日本は2020年の五輪開催地として立候補している。これについては賛否両論があるが、個人的には是非、日本で開催してもらいたいと願っている。震災の影響や経済の疲弊によって弱り切っている日本と日本人に大きな希望と感動を与えてもらえたら幸いだ。今の若い世代に、オリンピックを間近に生で観てもらいたい。私たちが昔観たように。(照井)

### コラム：日本の「心と文化」を感じた瞬間

9月の中旬にアメリカに住む私の友人夫婦の息子が来日した。彼とは15年ぶりに会った。彼はアメリカ人の父と日本人の母との間に生まれ、幼稚園を終えるまで日本で両親と暮らしていたが、父親の仕事の関係でそれ以降はアメリカに住んでいる。母親とはよく日本語で会話をしているようで、巧みに日本語を操っている。彼の頼みを聞いて、彼ら家族がその昔に住んでいた都内某所を訪ねたり、都内の観光名所を案内しながら食事をしたりするうちに、彼の日本人よりも日本人らしい立居振舞に驚かされた。いったい、どこでこんなことを学んできたのだろうか、私は首をひねるばかりであった。たった4日間だったが、彼と過ごす時間の中で、彼の言動や物事のとらえ方、考え方といった、いたるところに普段の私たち日本人が忘れかけていた日本人の心ともいえるべきものを感じた。日本での滞在最後の晩に、ちょっとした割烹風の小料理屋で杯を酌み交わした時も、料理が出された器を見て、『詫び・寂び』の話をし始めたことには本当に驚かされた。今の若い人たちの中で、目に映るものに対して『詫び』と『寂び』を感じられる人たちはどのくらいいるだろうか。我々の年代でも、ややもすれば、『詫び』や『寂び』、『雅』などという概念や感情を語ることはあまりない。当たりまえのように身の回りにあるものだから、普段取り立てて感じないのか、それとも、それらの感情そのものを感じることがなくなってきているのか。日本人の感覚的、感情的といったことが大きく変わりつつあることへの驚きを隠せなかった。我々は独自の文化を忘れつつあるのだろうか。それとも、失いつつあるのだろうか。アメリカ人青年から強烈なパンチをくらったような気持ちだった。(照井)

【編集後記】ノーベル賞を日本人が受賞した。日本にも誇れる頭脳があることが立証された。これもまた若い世代に夢を与えてくれたなあ◆文部科学省が国公私立大学を通じた大学教育改革の支援を行っている。これにより日本の多くの大学が自らの学舎の教育改革にチャレンジしている。できれば、もう少し早くから国が動いてくれたらなあと思う■領土問題から端を発し、中国では暴動が起きた。デモの真意は反日だけではないとされているようだが、理由の如何にかかわらず暴動は許されない。日本の外交手腕が問われる危機的な状況であることは言うまでもない▲新しい携帯iPhone5にも見られるように技術の発展には目覚ましいものがある。未だに、単純な携帯電話さえ扱えない世代もこの社会で一緒に暮らしていることを忘れないでほしい●かつての祝日を月曜日に移して土日月と3連休とするハッピーマンデー制度が布かれて(2000年・2003年)約10年が経つ。国民にとっては休日がまとまって取れて良いかもしれないが、その祝日の本来の意味を忘れかけているような気もする。でも、やっぱり休みが多いのは嬉しいかな▼10月の声を聞いたということは、今年も残り3ヶ月を切ったということだ。今年の猛暑には参ったが、これからの寒さを考えると、夏の日々を懐かしく想うこともあるのかな・・・そんなことはないか!? (照井)

Let me remind you

★JAAC生の皆さん、保護者の皆さん、何でもお気軽にご相談ください。

◆JAAC生の皆さんへ： 11月4日(日)に夏時間から冬時間に切り替わります。翌日の5日(月)からの授業やその他のスケジュールに支障をきたさないように十分に注意をしてください。皆さんが滞在している地域と日本との時差も変わりますので、あらかじめご注意ください。

▲帰省の航空券販売開始： 今年の冬の帰省航空券が販売されています。帰省される方は早めに予約をしましょう。

■就職活動をするJAAC生の皆さんへ： 希望企業についてよく調べ、海外大学卒業生(見込み者)を対象としたジョブフェア等の情報には必ず目を通すように心がけましょう。就職活動においては、下記までお気軽にご相談ください。

●JAAC本部内保護者様専用ご連絡・ご相談窓口：

フリーダイヤル0120-525-626 [tokai@jaac.co.jp](mailto:tokai@jaac.co.jp) 担当：高瀬

JAAC日米学術センター 鈴木：[t.suzuki@jaac.co.jp](mailto:t.suzuki@jaac.co.jp) ©カリフォルニア担当：照井 [k-terui@mtg.biglobe.ne.jp](mailto:k-terui@mtg.biglobe.ne.jp)